

令和5年度

宇都宮大学共同教育学部 学校推薦型選抜 I 試験問題

小論文

学校教育教員養成課程 人文社会系 社会分野

令和4年11月23(水)

9時00分 ~ 10時30分

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけない。
2. 「受験番号」は、解答用紙の受験番号欄に忘れず記入すること。
3. この冊子には、2問題 ある。乱丁、落丁、印刷不鮮明の箇所があった場合には、申し出ること。
4. 解答用紙は、2枚ある。解答は、必ず解答用紙の所定の解答欄に記入すること。所定の欄以外に記入したものは、無効である。

第1問 次の「議会制民主主義の危機」に関する文章を読み、下の問に答えなさい。なお、解答はすべて解答用紙に書きなさい。

この部分は、著作権の都合上、公開できません。

この部分は、著作権の都合上、公開できません。

この部分は、著作権の都合上、公開できません。

(吉田徹『ポピュリズムを考える』NHK出版より なお設問の都合で原文を一部省略・改変したところがある)

(*注1) ポピュリズム：厳密な定義はないが、大衆迎合的な政治思想・運動を示す際に用いられる。ネガティブのみならず、ポジティブな意味で歴史的に分析される場合もある。

(*注2) ポピュリスト：ポピュリズムの思想をもつ人物や集団。

問

問1 下線部「新興民主主義国」とはどのような国のことを述べているか。100字以内で答えよ。その際「冷戦」という言葉を必ず用いて説明しなさい。ただし、具体的な国名を挙げることはしなくてよい。

問2 本書で作者は【図2】をはじめさまざまなデータをもとに「日本の民主主義は機能していない」と主張しているが、あなた自身はどのように考えるか。具体例とともに300字以内で述べよ。

第2問

次の資料は小学校低学年に社会科がまだあった頃に行われた授業を記録した授業記録である。この当時社会科は、指導要領に書かれた教えるべき内容を教え込むという方法論がとられていたが、子ども達一人ひとりが調べたり考えたりして話し合うことで、ものごとを理解したり、話し合う力や考える力を鍛える授業も比較的盛んに行われており、この授業もそのような授業の一つである。

この授業は、「食べられる草や木の実」のタイトルにあるように、4月から学校内外を歩いては「食べられる草や木の葉、木の実」を探し、直接食べられる物、他のものところね合わせて食べられる物に分けた。また野菜・果物のような栽培植物では、どれほど私たちの舌とお腹を満たしているかに気づかせ、とくに、かいわれ大根、ネギ、三度豆をまいて育てたりして、それをみんなで食べては、育てることのむずかしさ、またそれに伴う喜びや楽しさを味わわせた。このようにすることは、自然の生命に、子どもたちが子どもたちの手で迫っていくことであり、人間としての愛にも目覚めていくことになる、授業者(指導した教師)が考えたからである。

そこで、この授業記録の時間では、農家の「平田さんのおじさん」が作っているネギや三度豆と比べて、その育てた方の違いに気づかせ、とくに「おじさんは、ネギやキャベツとお話できる」「おじさんは、ネギやキャベツを人間の赤ちゃんみたいに思っている」と話してくれたおじさんの言葉の中味を吟味させながら、私たちのネギや三度豆を、大きく育てる方法に眼を向けさせるようと授業者は考えた。

このような意図で行われた授業の授業記録(教師の発言・子どもの発言・教師や子どもの動作等を記録したもの)をよく読んで、下の問1にこたえなさい。なお、記号等は次の【注】の通りである。

【注】

- ①文章中のCは不特定の子ども、Tは教師を意味する。
- ②< >内は動作を示す。例えば<T, 板書>は教師であるTが黒板に文字を書いたこと、<C, 起立>は子ども達が起立したことを意味する。
- ③()内は、座ったままでの発言である。例えば(C ちょっと違って)は、座ったまま拳手せず、不特定の子どもが「ちょっと違って」と言っていることを示す。「ちょっと違って」というのは、今発言している子どもの発言とはちょっと違った発言があることを言いたいという意味である。
- ④【○分経過】は、授業開始からどれくらい時間が経過しているかを示す。
- ⑤子ども達は相互指名をして授業を進めている。相互指名とはある子どもが発言し終えたら次の発言者をその子が指名するというものである。
- ⑥27 北川, 28 西村, 29 北川, 30 西村, の部分は相互指名にはなっていない。

問1 この授業を評価しなさい。評価にあたっては、授業記録の発言を番号とともに部分的に引用するなどして、評価とその理由を400字以内で説明しなさい。

この部分は、著作権の都合上、公開できません。

この部分は、著作権の都合上、公開できません。

この部分は、著作権の都合上、公開できません。

この部分は、著作権の都合上、公開できません。

この部分は、著作権の都合上、公開できません。

この部分は、著作権の都合上、公開できません。

この部分は、著作権の都合上、公開できません。

重松鷹泰「授業記録に学ぶ」(『教員研修』1985年3月号)より。

